



SUCCESS STORY 株式会社アトミ

KODAK SONORA XTRA 視認性・感度・耐傷性・耐刷性を大幅に向上

コダック製品で統一した信頼性高いCTPワークフローで、月平均1,500版のSONORAプロセスフリープレートを出力。新しいSONORA XTRAは環境性能に加え、印刷現場の使い勝手まで配慮した素晴らしい刷版と絶賛。

高付加価値・高難度の仕事に 先進的な設備と秀でた人材で対応

東京都小平市を拠点に活躍する株式会社アトミは、先進的な印刷技術を積極的に導入しながら、独自の地位を築き上げてきた気鋭の印刷会社である。コダック製 4-up CTP 初期モデルの日本初導入をはじめ、省電力 UV 印刷機の世界初導入、広演色 (RGB) 印刷の採用など、同社が先鞭をつけた印刷技術は枚挙に暇がない。1969 年の創立以来、規模を追うことなく、先進的な設備と優れた人材をもって、美術関係をはじめ他社が敬遠する高品位・高難度の仕事に向かいあいながら、卓越した印刷技術とスキルを自社の強みとしてきた。現在では地元多摩を中心に都内の教育機関、美術館、企業、研究所、自治体など幅広い顧客から高い信頼を獲得している。

「新しいSONORA XTRAは刷版の基本性能が格段に向上しています。水が絞れて、刷りやすく、印刷品質がさらに安定しました」

徹底したテストの結果、 2017年にSONORAを全面採用

同社が初めて KODAK SONORA プロセスフリープレートに興味を持ったのは、2015 年夏のこと。新技術の採用に積極的で高い環境意識を持つ同社は「廃液ゼロは長年の目標だった」と有田昌城会長が語るように、すぐにテストを実施したが、当時の SONORA は絵柄が見にくく、検版への不安から採用は見送られた。ミスが起こりやすい特色のノ



代表取締役会長 有田 昌城 氏



代表取締役社長 高橋 学 氏



製造部部长 村瀬 直之 氏





TRENDSETTER MCU の1号機を導入



A 全判のLED-UV 印刷機 (4色機2台・2色機1台)



高品質・高難度の印刷物は同社の得意分野

セやヌキの最終確認に検版が欠かせなかったためだ。ただ同社が指摘した検版の重要性は、コダックでも共有され改良版の早期開発につながった。翌年、視認性を高めた改良版が出ると、ためらいなくテストを再開した。同社では、特殊原反（ストーンペーパー、アルミ蒸着紙、プラスチック素材など）や特色インキ（金、銀、白など）を多用した難易度の高い仕事が多く、KODAK STACCATO スクリーニングによる高精細印刷や広演色（RGB）印刷もあり、検証すべき項目は多岐にわたった。それでも実運用と並行しながら様々な仕事でテストを続け、2017年5月には自動現像機を完全撤去しSONORAへの全面移行を果たした。代表取締役社長の高橋学氏は「印刷適性をもれなくチェックしたので、不安は全くなかった」と当時を振り返っている。

SONORAの印刷品質を高く評価

製造部部長の村瀬直之氏は、「印刷品質が抜群にいい」「網点はシャープで非常にきれい」とSONORAを絶賛した。現像処理によるドット変化がなく、品質が安定しているので「特に高精細印刷で大きな強みになった」という。アナログ的な処理工程がなくなり、KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジーの能力が100%引き出されるようになったのだ。「きれいに刷れている」と顧客からも高評価を得た。SONORAの使い勝手についても、「印刷機の仕立てを変えることなく、有処理版と同じように刷れる。違和感は全くない」と村瀬部長は明言した。刷り出しの早さも今まで通りで、当時、最大5万枚の刷り実績も達成している。

新しいSONORA XTRAは基本性能が格段に向上

2022年10月、コダックが新しいKODAK SONORA XTRA プロセスフリープレートを発表すると、同社はすぐに印刷テストを実施した。SONORA XTRAは、視認性、感度、耐傷性、耐刷性を大幅に改良したコダックの自信作だ。高橋社長は「視認性は大きく改善し、とても見やすくなった」と称賛するが、視認性や耐傷性の向上は「新規採用を目指す会社のメリット」であり、5年以上使い続けてきた同社にとっては「従来品でも何ら問題はない」と指摘する。その一方、耐刷性については「一般紙・5万枚以上の仕事を余裕でこなせ、特殊紙では版交換の間隔が確実に伸びている」と手応えを感じている。また感度の向上は「ヘッドの長寿命化と省エネにつながる」と期待を寄せる。その上で、「従来品との最も大きな違いは刷版の基本性能だ」と高橋社長は強調する。「新しいSONORA XTRAは刷版の基本性能が格段に向上しています。水が絞れて、刷りやすく、印刷品質がさらに安定しました。難易度の高い仕事でも、その実力を遺憾なく発揮します」現場でもベテランから若手まで3人の機長が口を揃えて「刷りやすくなった」と評価している。村瀬部長は「SONORA XTRAの最大の特長は、印刷現場が使いやすい刷版になっていることだ」と断言する。しかも「水が絞れて

インキが盛れるので、グロス感が明らかに違う」と品質向上にも貢献している。さらに「難しい広演色・高精細印刷でも平網のハイライト部分が飛びにくく、耐刷性は実質2倍以上に伸びている」という。今年手がけた難易度の高いイラスト本でSONORA XTRAが使えていれば、「苦労もなく、仕上がりが確実に良くなっていた」と村瀬部長は悔しがっている。

CTPワークフローをコダックに統一

同社の製版部門では、イメージセッターの時代から長年にわたってコダック製品を使い続けてきた。現在は最新のKODAK PRINERGY WORKFLOW ソフトウェアとKODAK TRENDSETTER MCU（マルチカセットユニット）で信頼性の高いCTPワークフローを構築し、月平均1,500版のSONORAを完全ワンマンオペレーションで出力し、3台のLED-UV印刷機（A全判4色機2台、2色機1台）に供給している。完全無処理化から5年が経って、印刷機は一新し、SONORAもまた大きく進化した。新しい技術の導入に二の足を踏む企業は多い。それでも同社は恐れることなく、つねに最新の印刷環境を構築しながら、未来へと前進を続けている。こうした同社のチャレンジを、コダックもまた革新的な技術開発で支え続けている。

株式会社アトミ

代表取締役会長：有田 昌城
代表取締役社長：高橋 学
〒187-0031 東京都小平市小川東町5-13-19
TEL：042-345-1155
FAX：042-343-3517
<http://www.atomi.co.jp/>



この印刷物は、KODAK SONORA XTRA プロセスフリープレートを使用して印刷しています。



コダック ジャパン

<https://www.kodak.com/ja>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265
福岡：050-3819-1270 札幌：050-3819-1250